

【麻布演劇市のビジョン】

平成25年7月5日

「麻布演劇市」実行委員会

実行委員長 斉城 薫

「麻布演劇市」は、港区の施設である麻布区民センターと、港区内で活動している劇団の共同体です。

優良なお芝居やその他の舞台芸術を気軽に楽しんで頂くために、港区の公的施設である麻布区民センターと劇団が話し合い、民主的に運営しながら年間8回の公演を行います。その公演の期間中に、港区民の方々のために無料観劇日を1回以上設けて区民の皆さんに提供します。そして、区民センターはセンターホールの提供や必要経費の一部を上演劇団に補助するという運営形式をとっています。

さて、「麻布演劇市」の名前の由来を申し上げますと、この共同体の性格といいますか目指している姿が少しはっきりするかと思います。「演劇市」はその名の通り「市場」ということです。朝市の露店のように、各劇団が様々な持ち味をお客様の前に広げています。お客様はお店の違いを目で楽しんだり、気に入ればそのお店のごひいきにもなるでしょう。繁盛する店もあれば閑古鳥の鳴く店もできます。そういうお客様の主観が存分に入った「市」は、上演劇団の技術向上や心の糧になります。お客様が単に観るだけでなく、活気のある「市場」を作る主役になっていただく。そういう意味合いも込めた「麻布演劇市」です。

この共同体は、劇団の個々の上演活動を維持するためのものではありません。「演劇」という媒体を通して、港区の中に（ひいては港区から世界に）文化の根を広げていく運動。個々の劇団の友人関係だけのものから、港区に関係ある継続的な「演劇市」独自の観客を持ちます。これは、自己満足の世界から脱皮し、私達の運動の本質だということをお認識してください。私達の暮らしに、ささやかな熱気と活力を取り戻す、ひとつの試みとお考え下さい。その熱気・活力こそが、本当の「文化活動」の根底ではないでしょうか。